

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
藤岡市街地地区

平成30年8月

群馬県藤岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	都市計画道路の整備率	%	52.3	63.1	63.9	確定 ○	○	あり		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市計画道路藤岡インターチェンジ北口線や北部環状線の整備が進行したことにより、整備率向上に貢献した。
指標2	公共施設の耐震化率(避難対策施設のうち特定建築物)	%	60.7	100.0	100.0	確定 ○	○	あり		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市内の主要施設で耐震改修が進み、公共施設の耐震化率は大きく改善しており、効果が確認できる。また、藤岡公民館エレベーター設置及び外壁補修事業により、高齢者や身体障害者の避難にも対応した施設の確保に貢献した。
指標3	排水エリアの面積	ha	20.3	28.2	81.2	確定 ○	○	あり		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	北部環状線交差点改良事業より、中心市街地雨水排水対策事業でバイパス管を設置し、地域一帯の排水対策を行う方がより効果が得られると判断し、事業の切り替えを行ったことにより、排水区域面積が大きく拡大し、排水の状況が改善した。
指標4	北藤岡駅前の放置自転車台数	台	20	7以下	15	確定 ○	△	あり ○	1	H30年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駐輪場の利用促進やマナー向上のための啓発活動を実施したことにより、放置自転車台数が大きく減少した。
指標5						確定 ○		あり		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	公共施設の耐震化率(避難対策施設)	%	81.8	/	97.0	確定 ○	/	/		H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市内の避難対策施設の耐震化工事等を10棟実施したことにより、安全な避難所の確保ができた。
その他の数値指標2	歩道のバリアフリー化率	%	60.8	/	66.9	確定 ○	/	/		H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事業の実施により、バリアフリー化された距離は増加し、安全な歩行者・自転車空間の確保において改善効果があった。
その他の数値指標3	藤岡公民館の2階以上の部屋の利用者数	人	42,929	/	50,819	確定 ○	/	/		H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	藤岡公民館エレベーター設置及び外壁補修事業の実施により、2階以上の部屋の利用者が増加し、高齢者や身体障害者の避難にも対応した施設の確保への貢献が示された。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	安全な道路利用の環境の確保を目指した道路整備の 継続	都市計画道路藤岡インターチェンジ北口線や北部環状線の整備を実 施した。	整備が進んだことで、地区内市街地への通過交通 が減少し、歩行者、自転車の安全性が向上され た。
	避難場所の耐震化や浸水対策の強化による災害に強 いまちづくりの推進	荒天時の定点観測による、整備状況の確認を行った。	排水区域面積が大きく拡大し、排水の状況が改善 した。
	バスの継続と安全安心な運行の励行によるバス利用 者の満足度向上に向けた対策	市内循環バスの運行を実施し、輸送人員の維持を図った。	順調に輸送人員が増加した。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	避難対策施設の耐震改修の継続	-	今後、避難対策施設(平井公民館・小野公民館)の耐震改修を行 う。
	放置自転車対策	放置自転車に対するマナー向上のための啓発活動の実施を行 った。	放置自転車台数が大きく減少し、安全な歩行者自 転車空間の確保ができた。
	藤岡インターチェンジ北口線等の継続整備	次期区間の地権者との境界立会い及び測量設計を行った。	境界の確認が取れ、設計も確実な形となった。
	市民の道路の整備状況に対する満足度の向上	バリアフリー事業に伴う市道6073号歩道改修工事を実施した。	安全な歩行者、自転車空間が確保された。
	地域の実情に合わせたバスの効率的な運行	-	-

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項